

# 1.発注者のインセンティブ

VE (設計時・入札時・契約後)の推進

## 【ねらい】

発注者にインセンティブを付与することで、さらなるVEの取り組みを促す。

## 【取り組み概要】

コスト縮減額を他のダム事業へ流用し、ダム事業全体として、事業実施の効率化を図る。

コスト縮減優秀者への表彰・実名の公表や目標及び成果の公表等を行う。

## 2.発注者のスタンス

### 受注者側の技術提案の促進

#### 【ねらい】

発注者が作成する設計・施工計画は標準案であり最良案でないことを受注者に認識してもらい、受注者側の技術提案を促す。

#### 【取り組み概要】

発注者が作成した“標準案”について、入札時に目的物の機能・性能等の必須条件以外は示さない。

受注者側の技術提案を入札条件とする。

## 3. リスク分担

### 受発注者間のリスク分担の明確化

#### 【ねらい】

受注者側から技術提案を求めるにあたり、提案範囲をより拡大しより現実的な提案を求めるために、リスク分担を明確にする。

#### 【取り組み概要】

受発注者間のリスク分担を適切に設定し、明確に示す。

## 4. 検証

### VE効果のモニタリング

#### 【ねらい】

提案時だけでなく工事完了時まで、VEによる効果をモニタリングし、コスト縮減のノウハウを、今後のVE検討に活用する。

#### 【取り組み概要】

VEに関する情報データベースを構築する。

## 5.受注者のインセンティブ(設計段階)

### 設計VE方式の改善

#### 【ねらい】

現在のVE検討会は発注者中心のため、早期段階、特に施工計画に関する民間企業の技術力を活用する。

#### 【取り組み概要】

設計施工一括発注方式を採用する。